

第5回定期テストはできましたか？試験が終わった後、誤答レポートなどで自己分析し、同じ間違いをなくすことが大事です。その積み重ねが力になり、模試などに生きてきます。模試などもやりっぱなしで終わるのではなく、必ず間違いを見直し、自己分析してください。今、高校3年生は大学受験真ただ中です。続々と合格者がでていきます。最後まであきらめず頑張っている先輩方に負けないように、計画を立てて勉強しましょう！  
今回は合格をつかむ1年間の過ごし方と、2/20に行われた卒業生上江洲まりのさんの講話を紹介します。



## 受験生になったらまずやりたいこと

### STEP1 志望校を考える

まだ受験の実感がわからない頃かもしれませんが、志望校を具体的に想定し始めましょう。そうすることで、受験科目や出題範囲を把握でき、学習計画が立てやすくなります。

### STEP2 1年間のスケジュールを把握する

長いようで短い1年間。漫然と勉強するだけでは、あっという間に時間が過ぎてしまいます。学校行事に思いのほか時間を取られることもあるでしょう。「何をいつまでにするのか」を明確にしながら、1年間の計画的に過ごしましょう。



4月～8月



### 基礎力をつける

この時期は基礎力定着に徹しましょう。入試で合格点を取るには基礎問題で確実に得点する必要があります。また、応用レベルの問題を解くにも、土台となる基礎事項の理解が不可欠です。2021年度入試から実施される大学入学共通テストでは、「知識の理解の質を問う」「思考力・判断力・表現力を活用して解く」問題が一層重視される、教科書等で扱われていない資料等も扱う場合があるなどの変化点がありますが、ベースになるのは教科書の内容です。まずは教科書に書かれていることをしっかりと理解し、教科書の例題や基本的な問題集が解けるよう学習しましょう。あわせて、英語や古文の単語や文法のように、覚えるべきものの学習にも取り組みましょう。

### 苦手を発見し、克服する

自分の苦手、見過ごしていませんか？ 苦手があると、苦手分野の大問をまるまる失点してしまった、なんてことにもなりかねません。早い段階での苦手克服を目指しましょう。苦手意識はなくても、「いつもここで間違える」という“隠れ苦手”を持っている人も多くいます。模試などの結果を振り返り、“隠れ苦手”を残さないようにしましょう。

### 夏休み～基礎力固め、苦手克服のラストチャンス～

受験の天王山と言われる夏休み。夏休みが終わると、これまでの学習の総復習や苦手科目にじっくり取り組む時間はとれません。やり残しが無いよう、あらかじめ学習計画を立て、有意義に過ごしてください。夏のがんばりが秋以降の成績の伸びにつながります。



9月～11月



### 応用力をつける

この時期は、夏までに養った基礎力を土台に、入試レベルの問題に対応できる応用力を身に付けます。問題演習を通して、これまでインプットしてきた知識・解法をアウトプットする練習をしましょう。また、志望校の過去問を確認し、どのような形式・レベルの問題で合格点を取る必要があるのかを把握しながら学習を進めるとよいでしょう。

## 模試を積極的に活用する

模試は学習の成果を試す絶好のチャンスです。雰囲気も入試本番に近いので、本番で思い通りの実力を発揮する練習にもなります。この時期には数多くの模試が実施されます。とくに新たに実施された共通テストに対応した模試は、積極的に活用したいものです。共通テストはセンター試験と比較して、図表や資料を多用した問題の出題や、問題文の分量増など、内容は、実生活に基づく問題が多くなっているのも特徴です。模試はこうした変化を想定した出題がされるので、その変化を事前に感じるよい機会です。受験後も繰り返し解き直すなどの活用をすることで、共通テスト対策としても有効でしょう。



12月～3月



## 実戦力をつける

入試本番で最大限力を発揮するための、実戦力を磨きます。時間配分を意識して過去問を繰り返し解くなど、最終調整を行きましょう。共通テストに向けては、これまでに受験した共通テスト対応模試や予想問題集を活用すると良いでしょう。なお、入試直前期でも、必要なときには基礎事項を確認するなど、試験場には確実な知識を持っていくようにしましょう。

## 志望校・併願校の最終決定

私立大であれば冬休み中に、国公立大も共通テスト受験後すぐに出願校を決定しなければなりません。万全の態勢で第1志望校に臨める受験校選びをしましょう。なお、直前に募集要項等の必要書類を準備している、出願に間に合わない可能性があります。少しでも出願を考えている大学については、早めに出願の手続き方法について確認しておきましょう。



最後に



受験生としての1年間は、成績の伸びを実感することもあれば、ときには成果が思うように出ないこともあり、一喜一憂の日々かもしれません。しかし、毎日少しずつ前進することで、最終的には大きな結果を生み出すことができます。最後まであきらめないうつろつろやった人が合格に近づくので、「継続は力なり」で頑張ってください。

<kei-net より>

## 卒業生11期生上江洲まりのさんによるZOOMを使っの講話

先日、中学1年生から高校2年生まで、卒業生上江洲まりのさん(現在、お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科3年生)によるZOOMを使っの講話を行いました。沖縄カトリック中学高等学校在学中の経験(AO入試受験を軸として)や大学生活(県外の大学で学んでよかったこと、学業以外の話など)、アメリカでのインターン生活(留学以外にインターンという選択肢があること)などを話してもらいました。



生徒からの感想は、「この学校の先生をたくさん頼ろう」、「勇気を出すことの大事さ」、「努力することの大切さ」、「世界を楽しもう」、「自分も早く目標を見つけよう」などたくさんの感想を頂きました。先輩からのアドバイスを活かし、これからの学校生活や高校卒業後の将来の目標を考えさせられた大変貴重な講話だったと思います。上江洲まりのさんお忙しい中ありがとうございました。ご活躍を期待しています。